

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
22322	墓地管理事業	開発建築部	市街地整備課	2
31223	中心市街地活性化対策事業	開発建築部	市街地整備課	3
52111	景観形成推進事業	開発建築部	市街地整備課	4
52121	都市公園整備推進事業	開発建築部	市街地整備課	5
52121	都市緑化推進事業	開発建築部	市街地整備課	6
52121	公園緑地事務事業	開発建築部	市街地整備課	7
52122	城山公園整備事業	開発建築部	市街地整備課	8
52122	城山公園史跡調査事業	開発建築部	市街地整備課	9
52122	城山公園管理事業	開発建築部	市街地整備課	10
52122	松山総合公園管理事業	開発建築部	市街地整備課	11
52123	公園整備安全安心対策事業	開発建築部	市街地整備課	12
52123	公園緑地一般管理事業	開発建築部	市街地整備課	13
52123	空港周辺公園整備事業	開発建築部	市街地整備課	14
52123	松山市公園管理協力連絡協議会運営補助金事業	開発建築部	市街地整備課	15
52211	市街地再開発支援事業	開発建築部	市街地整備課	16
52212	みんなで育む美しい街並みと賑わい創出事業	開発建築部	市街地整備課	17

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	景観・公園利用・市営墓地担当	連絡先	948-6094	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	半場 稔	担当	田中 英二	下田 知幸

1.事業概要【Plan】

事業名	墓地管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
22322							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	安全に暮らせる環境をつくる		—	—	—	—	
施策	良好な衛生環境の維持						
主な取組	生活衛生の向上	根拠法令	墓地、埋葬等に関する法律・松山市墓地条例				
取組みの柱	斎場、霊園の整備・管理						
目的・背景	松山市墓地条例により設置された22か所の市営墓地及びロシア兵墓地の適正な維持管理を行う。 墓地、埋葬等に関する法律及び同施行規則に基づき、無縁と思われる墓地を整理し、将来購入を希望する市民に対し再貸付を行う。なお墓地は法律施行前から存在しており、法施行後に市の管理となった。						
対象・内容	市営墓地の共用部分の清掃等の委託契約を締結し、維持管理を行う。 市営墓地使用者の継承等の墓地手続き申請を処理し、許可証を交付する。 返還のあった区画を整備し、再貸付を行う。 無縁改葬手続きのための墓地調査を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	市営墓地廃棄物等分別・ 収集・処分業務外委託料		20,071
予算 (千円)	事業費計	37,908	33,973	36,330					
	国費・県費								
	市債								
	その他	39,420	34,400	30,600					
	一般財源	-1,512	-427	5,730					
決算 (千円)	事業費計	33,280	33,901			主な 取組 内容 【R5】	墓地の維持管理 使用者台帳の管理 返還墓地の再貸付		
	国費・県費		0						
	市債								
	その他	29,540	32,560						
	一般財源	3,740	1,341						
	(執行率)	88%	100%						
人役	正規職員	1.7	1.7	1.7		特記 事項			
	その他								
	合計	1.7	1.7	1.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	市営墓地貸付		目標	73	63	60	60	概ね目標が達成できた。	
			実績	60	58				
	累計で増	区画	達成率	82.0%	92.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	特に問題なく市営墓地の維持管理を行っており、市営墓地の清掃等や返還墓地を整理することにより、良好な墓地の衛生環境を維持できた。							
課題	核家族化や少子化で墓地管理者が不在となり墓地の返還など適切な墓地管理が行われていない区画(墓地)がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	利用者への適切な利用の啓発は行っていない必要があるが、貸付は目標数を達成できているため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	中活・市街地整備	連絡先	948-6466	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	渡部 剛士	担当	藤井 健史	千羽 聖華

1.事業概要【Plan】

事業名	中心市街地活性化対策事業		事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
31223								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する			○	－	○	－	
施策	事業所立地と雇用創出の推進							
主な取組	産業基盤の充実		根拠法令	中心市街地の活性化に関する法律				
取組みの柱	中心市街地の活性化							
目的・背景	本市では、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進するため、平成20年11月に第1期松山市中心市街地活性化基本計画の内閣総理大臣認定を受けた。現行計画である第3期では「来街者の回遊性向上による賑わい創出」、「観光コンテンツの充実による満足度の向上」、「高質で豊かな居住環境の形成によるコンパクトシティの推進」の3つの柱を目標として掲げ、全体テーマの「職・住・遊の近接で豊かな生活が実現されたまち」を目指し中心市街地活性化を目指している。 また、これにより中心市街地活性化基本計画区域で行われる事業の事業者(市も含む)が、国等からの支援を受けることができるようになる。							
対象・内容	令和2年10月に認定された第3期松山市中心市街地活性化基本計画を進行管理(事業の実施状況、数値目標の検証等)するとともに、中心市街地の活性化事業を横断的・総合的に調整し、様々なまちづくりをサポートしている中心市街地活性化協議会(会長：松山商工会議所副会頭)の活動を支援するものである。 中心市街地活性化基本計画を運用することにより、その区域内で行われる事業は、国等からの支援を受けることができるようになる。また、中心市街地活性化協議会の活動に対して補助金を支出することにより、同協議会による活性化策を推進する。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市開発事業費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	松山市中心市街地活性化協議会運営事業補助金		2,500
予算 (千円)	事業費計	2,649	2,595	2,587					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,649	2,595	2,587					
決算 (千円)	事業費計	2,365	2,528			主な 取組 内容 【R5】	・中心市街地活性化協議会の活性化事業に対する支援を行った。 ・第3期 計画の定期フォローアップ及び進捗管理を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,365	2,528						
	(執行率)	89%	97%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	中心市街地活性化協議会等との協議や会議参加数		目標	—	10	20	30	コロナ禍以降、効率的な会の運営に努められているため、指標を変更することとした。	
			実績	—	11				
	累計で増	回	達成率	—	110%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	第3期計画で定めた3つの目標指標である「歩行者通行量」・「観光施設入込客数」・「居住人口」は、いずれも目標値を達成できなかったが、協議や会議への参加、空き店舗対策事業などの基本計画に位置付けた各種事業は概ね予定通り実施することができた。							
課題	第3期計画で定めた3つの目標指標である「歩行者通行量」・「観光施設入込客数」・「居住人口」は、いずれも目標値を達成できなかった。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	中心市街地活性化に向けて、基本計画の進捗管理や中活協への支援が必要であるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	景観・公園利用・市営墓地担当	連絡先	6848	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	半場 稔	担当	日野 真一	下田 知幸

1.事業概要【Plan】

事業名	景観形成推進事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	1:直営	
52111							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	特色ある都市空間を創出する		○	－	－	－	
施策	良好な都市空間の形成						
主な取組	都市景観の形成	根拠法令	景観法、松山市景観条例、松山市景観計画、松山市景観整備支援事業補助金交付要綱				
取組みの柱	良好な景観の形成						
目的・背景	松山らしい景観が保全・創出され、良好な都市ブランドと地域が活性化された状態を目指す。良好な景観形成に対する市民の関心の高まりから、平成8年に独自条例の「都市景観条例」を制定、平成16年には「景観法」が制定されたことから「都市景観条例」を「景観条例」に改定し、建築行為などを行う際の事前届出制度により良好な景観の形成に努めている。また、平成8年からは景観賞を実施するなど、更なる市民の景観に対する意識高揚を図るためのソフト事業の充実も図っている。						
対象・内容	景観法及び松山市景観条例に基づく景観計画の運用や大規模行為に対する民間事業者への景観誘導の指導・届出審査などを行う。 また、市民との協働により、松山市景観計画の策定・運用、景観まちづくり事業の実施(まつやま景観賞、景観教育など)、松山市景観審議会の開催などを行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	松山城眺望マップ 印刷製本費		386
予算 (千円)	事業費計	3,659	3,571	4,031			景観まちづくり体験型 講座実施業務委託料		1,431
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,659	3,571	4,031					
決算 (千円)	事業費計	2,350	2,260			主な 取組 内容 【R5】	・松山市景観計画の運用 ・景観まちづくり事業の実施(まつやま景観 賞、景観教育など) ・松山市景観審議会の開催 ・松山眺望MAP作成		
	国費・県費	817	0						
	市債								
	その他								
	一般財源	1,533	2,260						
	(執行率)	64%	63%						
人役	正規職員	2.0	2.2	2.2		特記 事項			
	その他								
	合計	2.0	2.2	2.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	景観計画の策定した区域		目標	-	-	10	10	各地域での機運醸成が図られておらず 要望等がなかったため未達成。 令和6年度より面積(ha)から区域数に 目標設定を変更。	
			実績	-	9				
	累計で増	区域数	達成率	-	-				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新たな計画策定の区域はなかったが、計画策定につながる施策として、松山城の眺望景観に関する意識情勢のため 松山城眺望マップの作成や、主に高校生など学生を含む市民を対象にした景観教育を通じて、良好な景観への意識啓発につなげることができたため。							
課題	景観という考え方は数値的な成果があがるものではなく、主観によるものが大きい ため、市民の理解が得られにくい場合がある。 継続して景観への意識啓発に寄与する内容の事業を実施するとともに、市民への丁寧な情報発信が必要。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市民の景観に対する意識啓発には継続的な取り組みが必要であるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	維持管理担当	連絡先	948-6497	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	眞鍋 大樹	担当	柳原 信也	鈴木 則雄

1.事業概要【Plan】

事業名	都市公園整備推進事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
52121							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	特色ある都市空間を創出する		—	—	—	—	
施策	良好な都市空間の形成						
主な取組	公園緑地の整備	根拠法令	都市公園法、松山市都市公園条例、松山市緑の基本計画				
取組みの柱	身近な公園や緑のあるまちづくり						
目的・背景	都市計画法に規定する開発許可に伴い、帰属することとなる公園、緑地等のほか、借地公園などの受入れと整備の充実を図る。公園の整備に伴い、事業を開始。						
対象・内容	開発公園や借地公園 ・開発許可に伴い、帰属される都市緑地の園名板及び管理施設の整備を行う。 ・市民1人当たりの公園面積の増加を目的に借地公園の受入を行うための整備を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市公園整備費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	開発による寄付公園の整備工事費		838
予算 (千円)	事業費計	1,500	1,500	1,500					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,500	1,500	1,500					
決算 (千円)	事業費計	519	838			主な取組 内容 【R5】	開発により整備された公園を協定書に基づき市の管理にするため、寄附公園の園名板や注意看板等の整備を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	519	838						
	(執行率)	35%	56%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	寄附公園が想定より少なかったため。		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	開発による寄付公園の整備		目標	—	—	—	—	—	
			実績	1	3				
	現状維持	件数	達成率	—	—				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定どおり事業が実施できたため。良好な都市空間の確保に寄与している。							
課題	平成12年度以降に設置された開発公園は、市への寄付が開発許可の条件となっているが、公園管理協力を組織できないと、公園の管理を開発業者もしくは、近隣住民が行わなくてはならない状況である。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	年間に数件の開発公園が新設されており、今後も必要な事業である。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	緑化推進・墓地等担当	連絡先	948-6854	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	金浦 正臣	担当	東倉 一博	森 潔市

1.事業概要【Plan】

事業名	都市緑化推進事業		事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
52121								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	特色ある都市空間を創出する			○	－	－	○	
施策	良好な都市空間の形成							
主な取組	公園緑地の整備		根拠法令	松山市自然環境保全条例、松山市緑の基本計画				
取組みの柱	身近な公園や緑のあるまちづくり							
目的・背景	市民の暮らしにとっても大切な緑を、『まもり』『つくり』『そだてる』ことを基本にまちの緑化を進め、花と緑あふれる潤いのあるまちづくりをめざす。昭和62年に、財団法人松山市緑化基金(既に解散)により、基金の造成が開始されたことに伴い、事業を開始した。							
対象・内容	市内で花いっぱい運動や緑化推進に取り組む人を対象として、まちの緑化を進めるため花と緑に触れあう場づくりを支援している。 1. 生け垣・庭木などの奨励事業として補助金を支出する。 2. 地域の花壇やプランターでの花いっぱい運動を行い、種子や花の土などの資材を提供する。 3. 花づくりボランティアを育成し、会員に資材を提供する。 4. 緑化市民まつり・園芸教室・松山植木まつりの開催時に、会場設営など費用負担する。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	都市緑地費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	緑のまちづくり奨励金外 補助金		3,726
予算 (千円)	事業費計	15,049	16,089	16,788					
	国費・県費								
	市債								
	その他	15,049	16,089	16,788					
	一般財源								
決算 (千円)	事業費計	11,716	13,029			主な 取組 内容 【R5】	・民有地における緑の保全と緑化推進に 関する奨励金の交付 ・花づくりボランティアの育成 ・花いっぱい運動 ・緑の普及啓発		
	国費・県費								
	市債								
	その他	11,716	13,029						
	一般財源								
	(執行率)	78%	81%						
人役	正規職員	2.0	2.0	1.2		特記 事項			
	その他	2.0	2.0	1.0					
	合計	4.0	4.0	2.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	補助金交付本数		目標	—	—	—	—	—	
			実績	147	125				
	現状維持	本数	達成率	—	—				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	民有地における緑化推進活動(生垣・庭木)に対し奨励金を交付している。 花いっぱい運動(プランター花壇事業・コミュニティ花壇事業)本事業の実施により、市民のまちの緑化に対する意識が高まっているため。							
課題	民有地における緑化推進活動(生垣・庭木)に対し奨励金を交付しているが、生垣の申請件数は年々減少傾向にある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	・庭木への奨励金は市民ニーズが高い。 生垣への奨励金は、危険性のあるブロック塀への補助事業と連動しており必要性は高い。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	総務担当	連絡先	948-6851	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	迫 裕美	担当	松野 誉史	久木田 直子

1.事業概要【Plan】

事業名	公園緑地事務事業	事業性質	2:その他		事業区分	1:直営	
52121							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	特色ある都市空間を創出する		—	—	—	—	
施策	良好な都市空間の形成						
主な取組	公園緑地の整備	根拠法令	—				
取組みの柱	身近な公園や緑のあるまちづくり						
目的・背景	市民が安心して憩える公園及び緑地の維持管理に努めるとともに、快適な環境づくりを図ること。公園の維持管理を適正に継続する必要がある。						
対象・内容	公園あるいは公園の利用者 ・公園の占用、使用、施設設置及び施設管理の許可 ・水利組合に対する謝礼(城濠水導入) ・(一社)日本公園緑地協会、全国都市公園整備促進協議会への負担金拠出						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	公園緑地総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	城濠水導入報償費		398
予算 (千円)	事業費計	1,465	1,225	1,318					
	国費・県費								
	市債								
	その他	773	800	840					
	一般財源	692	425	478					
決算 (千円)	事業費計	1,136	1,174			主な取組 内容 【R5】	・水利組合に対する謝礼 ・(一社)日本公園緑地協会、全国都市公園 整備促進協議会及び日本さくらの会への 負担金拠出		
	国費・県費								
	市債								
	その他	841	799						
	一般財源	295	375						
	(執行率)	78%	96%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価（検証・改善）【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	負担金等の適正執行		目標	5	5	5	5	滞りなく支払いができた。	
			実績	5	6				
	現状維持	件数	達成率	100%	120%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	その他							
	理由	予定通り実施できた。							
課題	特になし。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	適正に執行できているため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	公園計画・城山整備担当	連絡先	948-6546	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	西本 義明	担当	相原 研吾	谷村 真太郎

1.事業概要【Plan】

事業名	城山公園整備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
52122							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	特色ある都市空間を創出する		○	○	－	○	
施策	良好な都市空間の形成						
主な取組	公園緑地の整備	根拠法令	文化財保護法、都市公園法、都市計画法、松山市都市公園条例				
取組みの柱	歴史文化や自然を生かした公園の整備						
目的・背景	・城山公園を整備することにより、史跡松山城跡としての価値を向上させるとともに、新たな魅力を創出し、市民に快適な憩いの場を提供することを目的とする。 ・平成21年度に城山公園(堀之内地区)第1期整備を完了し、令和元年度に松山城跡を保存・整備・活用するための指針となる保存活用計画を策定した。						
対象・内容	・城山公園(史跡松山城跡)を対象とする。 ・文化庁や愛媛県教育委員会、整備検討委員会の指導を受けながら、城山公園(堀之内地区)の第2期整備工事を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市公園整備費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	城山公園(堀之内地区・ 第2期)造成外工事費		66,517
予算 (千円)	事業費計	118,306	164,939	801,523					
	国費・県費	58,881	80,376	387,960					
	市債	38,200	72,200	349,100					
	その他	20,681	11,819	62,540					
	一般財源	544	544	1,923					
決算 (千円)	事業費計	50,683	72,542			主な 取組 内容 【R5】	城山公園(堀之内地区)整備事業に伴う 造成工事		
	国費・県費	25,018	35,519						
	市債	8,100	31,900						
	その他	17,088	4,597						
	一般財源	477	526						
	(執行率)	43%	44%						
人役	正規職員	3.0	3.0	3.0		特記 事項	土壌汚染対策法の関係手続が追加で必要 になったため、事業全体の工程が遅れた。		
	その他								
	合計	3.0	3.0	3.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	城山公園(堀之内地区) 2期整備供用開始面積		目標	—	—	—	6	令和8年度の供用開始に向けて、順次整備を進めているが、供用開始は最終年度間近になるため。	
			実績	—	—				
	累計で増	ha	達成率	—	—				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	全体の工程としては概ね計画に沿って事業が進捗している。また、「松山城跡樹木管理計画」を公開できたため。							
課題	・工事中、周囲の住環境に配慮する必要がある。 ・工事により低下しがちな利便性を可能な限り維持する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	現行で大きな問題は生じておらず、今後の対策も計画しているため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	公園計画・城山整備担当	連絡先	948-6546	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	西本 義明	担当	相原 研吾	黒川 秀平

1.事業概要【Plan】

事業名	城山公園史跡調査事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
52122							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	特色ある都市空間を創出する		—	—	—	—	
施策	良好な都市空間の形成						
主な取組	公園緑地の整備	根拠法令	文化財保護法				
取組みの柱	歴史文化や自然を生かした公園の整備						
目的・背景	発掘調査等の成果により史跡松山城跡の文化的価値を高めること。平成11年度に策定された城山公園(堀之内地区)整備計画等に基づき、平成13年度から場内の史跡松山城跡の発掘調査等に取り組んでいる。						
対象・内容	城山公園(史跡松山城跡)を対象とする。 ・効率的な発掘調査及び報告書作成を行うため、公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団に業務委託する。 ・有識者の指導を受けながら、整備に有意義な情報を得られるような発掘調査を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市公園整備費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	史跡松山城跡保存整備に伴う遺構確認調査等業務委託料		7,326
予算 (千円)	事業費計	6,506	7,330	6,597					
	国費・県費	3,252	3,665	3,298					
	市債								
	その他								
	一般財源	3,254	3,665	3,299					
決算 (千円)	事業費計	6,568	7,326			主な取組 内容 【R5】	松山城三之丸跡の発掘調査 過去の発掘調査成果の総括的報告書の 作成		
	国費・県費	3,283	3,663						
	市債								
	その他								
	一般財源	3,285	3,663						
	(執行率)	101%	100%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他								
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	遺構調査箇所件数		目標	—	—	—	—	適切に遺構箇所を調査・確認することができた。	
			実績	2	4				
	現状維持	箇所	達成率	50	100				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	城山公園(堀之内地区)第2期整備を進めるための情報を概ね得ることができているため。また、調査成果の公表により、松山城跡の歴史や今後の整備の在り方について関心を高めることができているため。							
課題	特になし					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	史跡内の整備である以上、発掘調査が必要であるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	公園計画・城山整備担当	連絡先	948-6546	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	西本 義明	担当	相原 研吾	黒川 秀平

1.事業概要【Plan】

事業名	城山公園管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	3:指定管理	
52122							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	特色ある都市空間を創出する		—	—	—	—	
施策	良好な都市空間の形成						
主な取組	公園緑地の整備	根拠法令	文化財保護法、都市公園法、松山市都市公園条例				
取組みの柱	歴史文化や自然を生かした公園の整備						
目的・背景	城山公園(堀之内地区)の適切な維持管理により快適な憩いの場を創出する。平成22年3月に城山公園(堀之内地区)の第1期整備が完了したこと等に伴い開始した。						
対象・内容	城山公園(史跡松山城跡)のうち、堀之内地区を対象とする。 ・堀之内地区の主によすらぎ広場(3.25ha)、ふれあい広場(3.32ha)、さくら広場(0.84ha)、管理広場(1.36ha)を管理する。 ・株式会社レスパスと指定管理者協定を結び、維持管理(芝生管理業務、樹木管理業務、警備業務等)を実施している。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	公園管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	城山公園(堀之内)指定管理 等業務委託料		72,700
予算 (千円)	事業費計	65,994	83,195	83,195					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	65,994	83,195	83,195					
決算 (千円)	事業費計	65,753	82,716			主な 取組 内容 【R5】	城山公園(堀之内地区)の維持管理		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	65,753	82,716						
	(執行率)	100%	99%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他								
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	公園利用届件数		目標	120	120	120	120	新型コロナウイルス感染対策の緩和により件数が回復したとみられる。	
			実績	112	163				
	現状維持	件数	達成率	93.3%	135.8%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	城山公園が、多くの団体又は市民に利用され、市民に快適な憩いの場を提供できているため。							
課題	整備業務と管理業務の区分について、指定管理との分担を更に明確にする必要がある。					今後の方向性	一部見直し	左記の理由	第2期整備完了後の管理方法や経費を考慮する上での前提となるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	総合公園管理担当	連絡先	923-9439	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	阿部 司	担当	荻山 雅之	

1.事業概要【Plan】

事業名	松山総合公園管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
52122							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(実績プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	特色ある都市空間を創出する		—	—	—	—	
施策	良好な都市空間の形成						
主な取組	公園緑地の整備	根拠法令	都市公園法、松山市都市公園条例				
取組みの柱	歴史文化や自然を生かした公園の整備						
目的・背景	松山総合公園の維持管理を実施することにより、市民に快適な憩いの場を創出する。松山総合公園の開園に伴い、事業を開始した。						
対象・内容	松山総合公園 ・職員による花等の植栽や簡易な公園内施設の維持管理を実施。 ・施設の維持管理に伴う修繕工事の実施。 ・剪定等樹木管理業務を造園業者等に委託料を支出。 ・施設保全管理業務(警備・清掃・電気設備保安管理など)を専門業者に委託料を支出。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	公園管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	植栽管理等公園維持管理 業務外委託料		39,794
予算 (千円)	事業費計	57,312	57,138	65,914					
	国費・県費								
	市債								
	その他	533	868	849					
	一般財源	56,779	56,270	65,065					
決算 (千円)	事業費計	59,771	53,819			主な 取組 内容 【R5】	公園内施設の維持管理 花木の植栽 樹木の剪定		
	国費・県費								
	市債								
	その他	677	1,135						
	一般財源	59,094	52,684						
	(執行率)	104%	94%						
人役	正規職員	4.0	4.0	4.0		特記 事項			
	その他	12.0	12.0	12.0					
	合計	16.0	16.0	16.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	公園内での瑕疵による無事故施設数(達成率)		目標	—	—	100	100	定期的な点検を行うことで達成できた。	
			実績	100	100				
	現状維持	件数	達成率	—	—				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	概ね、目標通りの成果が得られたため。松山総合公園の適切な維持管理を行うことにより、市民に快適な憩いの場を提供できているため。							
課題	施設の著しい老朽化が進み、維持管理経費の増加が見込まれる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の老朽化に伴う修繕工事を実施する。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	維持管理担当	連絡先	948-6497	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	眞鍋 大樹	担当	柳原 信也	鈴木 則雄

1.事業概要【Plan】

事業名	公園整備安全安心対策事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
52123							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	特色ある都市空間を創出する		○	—	—	—	
施策	良好な都市空間の形成						
主な取組	公園緑地の整備	根拠法令	都市公園法、松山市都市公園条例				
取組みの柱	都市公園の適切な維持管理						
目的・背景	公園施設長寿命化計画に基づき、耐用年数を超えるもの、危険度判定調査により改善が必要とされた遊具を対象として、総合的に整備を行う。併せて、バリアフリー化や防災機能の向上を行い、より安全な公園維持管理を目的とする。多くの都市公園の老朽化が進む中で、財政上の理由などで、安全で快適な利用が確保できなくなっていることが問題となってきたため、都市公園の計画的な維持管理の取り組みや、ライフサイクルコスト削減のための長寿命化計画を策定し、遊具を中心に安全安心な公園の環境づくりを進めている。						
対象・内容	松山市が管理する都市公園 ・長寿命化計画に基づき、開設されてから30年以上経過している公園で、健全度調査等で改善が必要とされたり、耐用年数が超えている遊具を中心に改修を行っている。 (改修工事箇所) 八坂公園ほか4公園						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市公園整備費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	杖ノ淵公園改修工事費		17,233
予算 (千円)	事業費計	44,800	56,100	55,400					
	国費・県費	22,400	27,950	27,700					
	市債	20,100	25,000	24,900					
	その他								
	一般財源	2,300	3,150	2,800					
決算 (千円)	事業費計	39,801	52,207			主な 取組 内容 【R5】	公園開設から概ね30年以上経過した都市公園を対象に、遊戯施設の更新を実施している。 令和5年度は、5公園を更新した。		
	国費・県費	19,850	25,450						
	市債	17,800	22,800						
	その他								
	一般財源	2,151	3,957						
	(執行率)	89%	93%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	公園施設長寿命化計画に 基づく整備済公園数 (累計)		目標	82	87	98	106	国費補助の内示率が100%であったため、 目標どおりの公園数を改修できた。	
			実績	91	96				
	累計で増	箇所	達成率	111.0%	110.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定どおり事業が実施できたため。良好な都市空間の確保に寄与している。							
課題	現在のニーズに合った整備を行い、利用状況に応じて遊具数削減に 取り組んでいく必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	遊具更新時に地元公園管理協力会と協議 しながら、遊具数削減に取り組んでいく。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	維持管理担当	連絡先	948-6497	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	眞鍋 大樹	担当	柳原 信也	鈴木 則雄

1.事業概要【Plan】

事業名	公園緑地一般管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
52123							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	特色ある都市空間を創出する		—	—	—	—	
施策	良好な都市空間の形成						
主な取組	公園緑地の整備	根拠法令	都市公園法、松山市都市公園条例、松山市緑の基本計画				
取組みの柱	都市公園の適切な維持管理						
目的・背景	既設公園の維持管理を実施することにより、市民に快適な憩いの場を創出する。公園の整備に伴い、事業を開始した。						
対象・内容	市内の都市公園342カ所 ・職員による公園遊具点検等公園の維持管理 ・公園管理協力会による公園の維持管理(委託先:松山市公園管理協力連絡協議会) ・委託業者による公園内樹木管理等(河野別府公園指定管理者:ふるさと北条ファンづくり応援団、その他管理業務等委託先:松山市シルバー人材センター外45業者)						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	公園管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	廃棄物収集運搬業務等 公園維持管理業務外 委託料		138,351
予算 (千円)	事業費計	258,261	276,949	286,442			湧ヶ淵公園災害復旧外 工事費		63,459
	国費・県費	2,100	3,000						
	市債		2,400						
	その他	2,539	2,609	2,565					
	一般財源	253,622	268,940	283,877					
決算 (千円)	事業費計	254,584	246,950			主な 取組 内容 【R5】	都市公園の維持管理		
	国費・県費	2,325	0						
	市債								
	その他	2,364	2,425						
	一般財源	249,895	244,525						
	(執行率)	99%	89%						
人役	正規職員	10.5	8.5	10.5		特記 事項			
	その他	2.0	1.0	1.0					
	合計	12.5	9.5	11.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果 指標	公園内での瑕疵による 無事故施設数(達成率)		目標	—	—	100	100	定期的な点検を行うことで達成できた。	
			実績	100	100				
	累計で増	件数	達成率	—	—				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	概ね、目標通りの成果が得られたため。都市公園の適切な維持管理を行うことにより、市民に快適な憩いの場を提供できているため。							
課題	管理公園数の増加により、今後、維持管理経費の増加が見込まれる。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	利用状況に応じて既存遊具の設置数削減 など、維持管理費の低減を行っていく。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	維持管理担当	連絡先	948-6497	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	眞鍋 大樹	担当	柳原 信也	鈴木 則雄

1.事業概要【Plan】

事業名	空港周辺公園整備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
52123							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	特色ある都市空間を創出する		○	－	－	－	
施策	良好な都市空間の形成						
主な取組	公園緑地の整備	根拠法令	都市公園法、松山市都市公園条例				
取組みの柱	都市公園の適切な維持管理						
目的・背景	空港周辺の環境整備として、国土交通省の移転跡地を一時使用することで公園を開設し、空港周辺住民の安らぎ空間を提供するとともに、コミュニティの場として有効活用する。一般財団法人空港環境整備協会が、空港の円滑な運用を確保する観点から、空港周辺住民、地方公共団体等の理解を得るため、平成7年から助成を開始したことに伴い、事業を開始した。						
対象・内容	国土交通省が設置・管理している空港で、航空騒音障害地域として設定されている区域における騒音等軽減のための公園等の整備事業 1. 交付申請を前年度に一般財団法人空港振興・環境整備支援機構に、空港周辺環境整備事業助成の要望書を提出。 2. 交付決定の承認が得られたかどうかは年度末に通知。 3. 事業実施は計画書に基づき、区域内の公園の老朽化した遊具や施設の改修を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	公園管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	空港南公園改修工事費		4,752
予算 (千円)	事業費計	5,000	5,000	5,000					
	国費・県費								
	市債								
	その他	4,000	4,000	4,000					
	一般財源	1,000	1,000	1,000					
決算 (千円)	事業費計	4,743	4,752			主な取組 内容 【R5】	空港周辺に既存する公園の良好な 環境整備 空港南公園の公園施設更新(フェンス)		
	国費・県費								
	市債								
	その他	3,794	3,802						
	一般財源	949	950						
	(執行率)	95%	95%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記 事項			
	その他								
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	施設改修を実施した公園数		目標	—	—	—	—	—	
			実績	1	1				
	現状維持	箇所	達成率	—	—				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	例年、国土交通省への要望どおりに改修等が実施できているため。良好な都市空間の確保に寄与している。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	空港周辺の環境整備に、今後も必要な事業である。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	総務担当	連絡先	948-6851	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	迫 裕美	担当	松野 誉史	久木田 直子

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市公園管理協力連絡協議会運営補助金事業	事業性質	2:その他		事業区分	5:補助金・負担金	
52123		各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		—	—	—	—	
政策	特色ある都市空間を創出する						
施策	良好な都市空間の形成	根拠法令	—				
主な取組	公園緑地の整備						
取組みの柱	都市公園の適切な維持管理						
目的・背景	市民が安心して憩える公園緑地の維持管理に努め、快適な環境づくりを行う。公園管理協力会間及び関係機関との連絡を図り、公園美化及び保全に協力することを目的とした「松山市公園管理協力連絡協議会」の発足に伴い開始。						
対象・内容	松山市公園管理協力連絡協議会の運営 ・市内の公園管理協力会を取りまとめる「松山市公園管理協力連絡協議会」に補助金を交付し、研修を実施する等、書く公園の健全な発展を図るために活動していただく。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	公園緑地費	目	公園緑地総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	—		—
予算 (千円)	事業費計	700	700	700					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	700	700	700					
決算 (千円)	事業費計	0	0			主な 取組 内容 【R5】	・総会(書面審議) ・表彰式及びブロック別研修会の実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	0						
	(執行率)	0%	0%						
人役	正規職員	1.5	1.5	1.5		特記 事項	繰越金や各公園管理協力会の会費により 運営経費を賄えたため。		
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	2.5	2.5	2.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	適正な補助金の交付		目標	—	—	1	1	—
			実績	0	0			
	現状維持	件数	達成率	—	—			
			目標					
			実績					
			達成率					
事業 評価	評価	その他						
	理由	令和5年度は、新型コロナウイルス感染症対策で会議開催を見送っていた期間の繰越金や各公園管理協力会からの年会費で運営費を賄いながら、対面式での表彰式やブロック研修会を実施することができた。						
課題	公園管理連絡協議会の役員及び各公園管理協会の会長の高齢化等により、今後の組織の運営方法について、見直しが必要な状況となっている。				今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	市内公園の美化及び保全を維持していくためには、市内約350の公園管理協会のとりまとめる運営母体が必要であるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	中活・市街地整備	連絡先	948-6466	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	渡部 剛士	担当	藤井 健史	

1.事業概要【Plan】

事業名	市街地再開発支援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
52211							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	特色ある都市空間を創出する		○	○	○	○	
施策	計画的な土地利用の推進						
主な取組	市街地形成の推進	根拠法令	都市再開発法、都市計画法、地区計画条例				
取組みの柱	にぎわいのある都市空間の創出						
目的・背景	市街地内の老朽木造建築物が密集している地区等で、細分化された敷地を結合し不燃化された共同建築物や広場等を整備することで、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的とする。						
対象・内容	補助金の交付や技術的な助言を行い、市街地再開発事業の施行者の取組みを支援する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	都市計画費	目	都市開発事業費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	研修等にかかる旅費		767
予算 (千円)	事業費計	365	3,657	802			全国市街地再開発協会等 への会費等	94	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	365	3,657	802					
決算 (千円)	事業費計	306	893			主な 取組 内容 【R5】	組合設立(事業認可)へ向けて国や県との 協議、理事会等への参加、権利者等との面 談などを実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	306	893						
	(執行率)	84%	24%						
人役	正規職員	2.9	2.9	3.2		特記 事項	組合設立認可申請後に委託業務を予定し ていたが、組合設立に至らず未実施のため。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	2.9	2.9	3.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	再開発準備組合等が開催する会議への参加回数		目標	90	100	120	140	両地区において、定期的に会議等が開催されたため、目標を達成した。
			実績	90	114			
		累計で増	回	達成率	120.0%	240.0%		
			目標					
			実績					
			達成率					
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調						
	理由	理事会への参加や関係者との面談などを行ったが、両地区とも組合設立認可申請には至っていないため						
課題	「湊町三丁目C街区地区」と「一番町一丁目・歩行町一丁目地区」の2地区の市街地再開発事業では、事業計画の検討や権利者をはじめとする関係者の合意形成に時間を要している。				今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	活動指標を達成できているが、事業認可に向けて円滑に事業が進むよう引き続き支援が必要なため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	開発建築部	課等名	市街地整備課	担当G	景観・公園利用・市営墓地担当	連絡先	6848		
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	渡邊 裕二	リーダー	半場 稔	担当	下田 知幸	日野 真一	

1.事業概要【Plan】

事業名	みんなで育む美しい街並みと賑わい創出事業		事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	1:直営	
52212								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	特色ある都市空間を創出する			○	○	○		○
施策	計画的な土地利用の推進							
主な取組	市街地形成の推進		根拠法令	松山市美しい街並みと賑わい創出事業補助金交付要綱				
取組みの柱	協働による中心市街地のまちづくり							
目的・背景	まちの賑わいを再生するためには、多様化した地域の課題について、行政のみならず、住民・事業者・まちづくり団体等の地域の担い手主体的にまちづくりに取り組むことが重要である。そこで地域の特色に応じた景観形成や地域独自の賑わいのあるまちづくりを推進するため行政の計画等と連携した街並み景観整備や賑わい創出施設整備を支援する事業を立ち上げた。民間によるまちづくりに貢献する施設整備に対して支援を行うことで、官民連携のまちづくりを推進し、美しい街並みや賑わいが創出された状態を目指す。							
対象・内容	まちづくりに貢献する民間の施設整備等に「松山市美しい街並みと賑わい創出事業補助金」による支援を行うことで、景観整備や賑わい創出を促進する。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般	款	土木費	項	都市計画費	目	都市開発事業
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	民間の施設整備に対する補助金		9,729
予算 (千円)	事業費計	15,047	14,945	10,147			審査会委員への報償費		42
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	15,047	14,945	10,147					
決算 (千円)	事業費計	10,044	9,833			主な取組 内容 【R5】	・事業内容の周知、広報、申請相談・受付。 ・審査会を実施し補助事業として認定。 ・申請者のクラウドファンディング開始から終了まで周知や進捗管理などサポートを行った。 ・補助金を交付、事業の完了確認まで行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	10,044	9,833						
	(執行率)	67%	66%						
人役	正規職員	2.2	2.0	2.0		特記 事項			
	その他								
	合計	2.2	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	補助金の交付件数 (施設等の完成)		目標	32	34	36	38	事業内容の丁寧な周知を図り、申請の 相談・受付から補助事業の採択2件・ 完了確認3件まで行うことができた。	
			実績	31	34				
	累計で増	件	達成率	96.7%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	令和5年度は補助事業として2件採択し、3件の完了確認を行った。(1件は前年度からの繰越分) 令和4年度からの繰越分1件の完了確認を行った。							
課題	令和5年度から、クラウドファンディングでの目標達成が補助金交付の条件として加わったため、積極的な情報発信と合わせて、制度についての丁寧な説明が重要となっている。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	景観まちづくりに貢献する民間の施設整備等を支援することで、景観整備や賑わい創出が図られているから。